情報公開文書

作成日・バージョン：2021 年 3 月 29 日・バージョン 1

1. 研究の名称：
デスモイド型線維腫症における細胞質内ベータカテニンの染色パターンに関する検討

2. 本研究は京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。

3. 研究機関および研究責任者
研究機関：京都大学医学部付属病院　病理診断科
研究責任者：山田　洋介

4. 研究の目的・意義
　デスモイド型線維腫症は、主に子どもから壮年期の成人に発生する比較的まれな軟部腫瘍です。その多くは CTNNB1 遺伝子の変異を有しており、その結果免疫組織化学においてベータカテニンタンパクの核陽性像が認められることは診断的価値が高い所見とされています。しかしながらベータカテニンタンパクの核陽性像を示さないデスモイド型線維腫症も存在し、そのような症例では他の悪性度の高い軟部腫瘍との鑑別が難しくなります。我々は、デスモイド型線維腫症には、ベータカテニンに対する染色性について核陽性以外の特徴もあるのではと考え、これまでに京都大学医学部附属病院で生検、切除された軟部腫瘍を対象に、ベータカテニンの染色パターンを見直し、デスモイド型線維症に特徴的な染色パターンを抽出したいと考えています。

5. 研究実施期間：承認日より 2 年

6. 対象となる試料・情報の取得期間
2011 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日までに軟部腫瘍の生検、手術を受けられた患者さん

7. 試料・情報の利用目的・利用方法
目的：軟部腫瘍のうち、デスモイド型線維症に特徴的なベータカテニンに対する染色パターンを抽出するために試料・情報を利用します。
方法：診断時に作製された HE 染色標本、ベータカテニンに対する免疫組織化学標本（既存試料）を用いて、組織型、ベータカテニンの染色パターンを再検討し、統計学的検討を加えてデータを解析します。

8. 利用または提供する試料・情報の項目
試料：HE 染色標本、ベータカテニンに対する免疫組織化学標本
情報：年齢、性別、腫瘍の組織型

9. 当該機関を実施する全ての共同研究機関の名称および研究責任者の職名・氏名
共同研究機関：なし
研究責任者：京都大学医学部附属病院　臓器移植医療部　講師・山田　洋介

10. 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称
京都大学医学部附属病院　臓器移植医療部　講師・山田　洋介
京都大学医学部附属病院　病理部　副臨床検査技師長・白波瀬　浩幸

11. 研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用を停止します。

12. 他の研究対象者等の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内での研究に関する資料の入手・閲覧する方法：
本研究には該当しません。

13. 研究資金・利益相反
1) 研究資金の種類と提供者：運営費交付金
2) 提供者と研究者との関係：利害関係はありません。
3) 利益相反：「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査しています。

14. 研究対象者およびその関係者からの求めや相談等への対応方法
1) 研究課題ごとの相談窓口
京都大学医学部附属病院　病理診断科
(Tel) 075-751-3488　(E-mail) yyamada@kuhp.kyoto-u.ac.jp
2) 京都大学の相談窓口：
京都大学医学部附属病院　相談支援センター
(Tel) 075-751-4748　(E-mail) ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp